

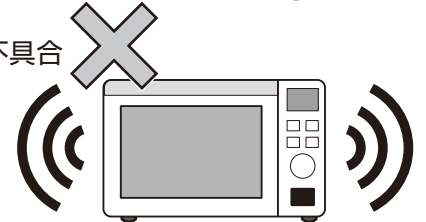


LIXIL FamiLock 電池式 取付け説明書

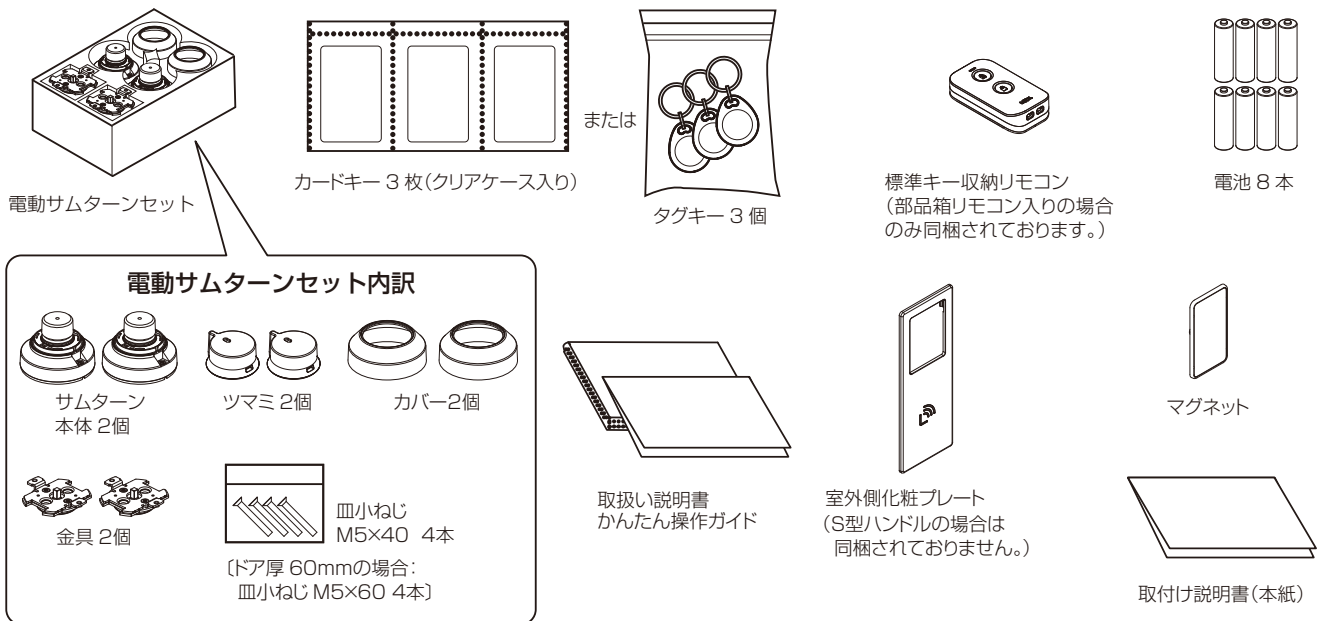
- この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。
- ハンドルの種類や商品によって、室外側リーダーやサムターンなどの形状が絵と異なる場合がありますが、手順・要領は同じです。(S型ハンドルの場合、室外側のリーダーがハンドルに内蔵されています)

■取付け上のお願

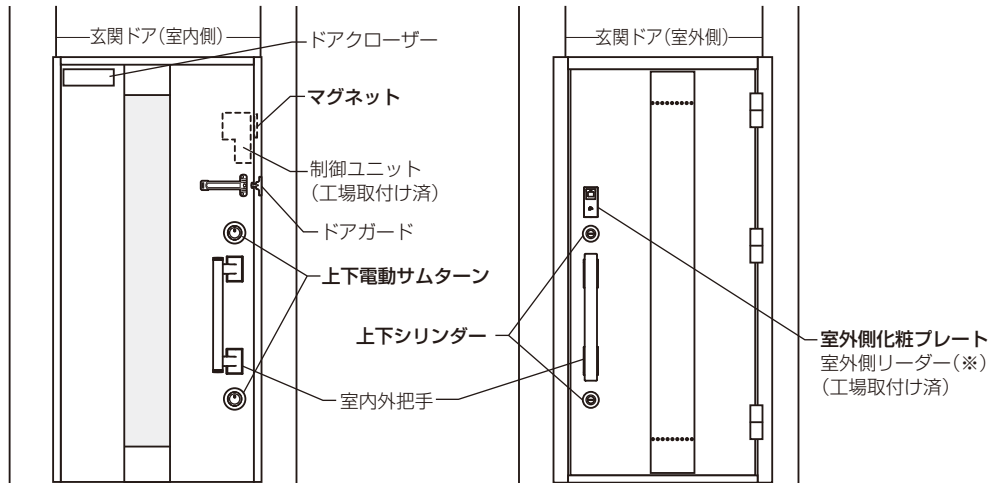
- 次のような場所への玄関ドアの設置は避けてください。故障や正しく作動しない原因になります。
 - ・軒が短く扉を開けた際に扉に直接雨水がかかる場所。
 - ・他の電波式機器から2m以内のところ。
 - ・電子レンジなどの電波的なノイズを出す電化製品から2m以内のところ。
 - ・玄関ドアが電波を通しにくい壁や金属物で囲まれているところ。
 - ・本製品の使用環境温度範囲は -10°C ～ 50°C 、使用周囲湿度範囲は20%～90% RHです。温度が上昇する場所(直射日光・直接暖房が当たる場所・ボイラーの近くなど)や -10°C よりも温度が低くなる場所があるところ、通気性が悪く湿気の多いところには使用しないでください。また、寒冷地では、風除室を設置してご使用をおすすめします。
- 電動ドライバーは使用しないでください。高トルクのため、部品が破損し不具合につながるおそれがあります。



■梱包内容の確認(部品箱)



■取付け部品一覧

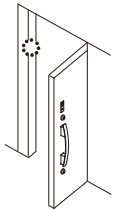


※S型ハンドルの場合、本説明書に記載されている絵と異なる箇所がありますが、手順・要領は同じです。
(室外側リーダーがハンドルに内蔵されています)

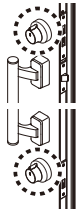
■電気錠取付け手順

●電気錠の取付け手順の一例と本紙に記載している内容を以下にまとめてあります。

①マグネット取付け



②電動サムターンの取付け



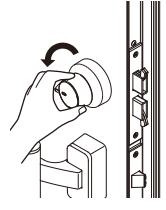
③室外側化粧プレートの取付け*1



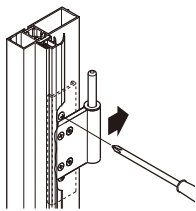
④電池を入れる



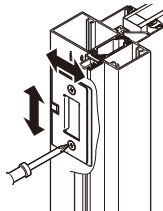
⑤電池を入れた後の動作確認



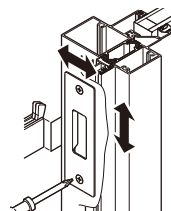
⑥枠とドア本体間のチリ寸法調整



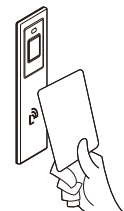
⑦ラッチの調整



⑧ストライクの調整



⑨カードキーを使った動作確認

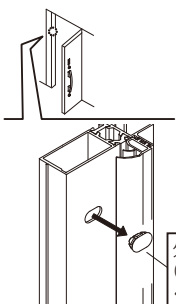


*1) S型ハンドルの場合、室外側化粧プレートを取付ける作業は不要です。

①マグネットの取付け

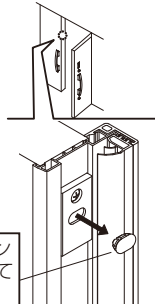
①-1 プッシュボタンを外します。

片開き・袖付

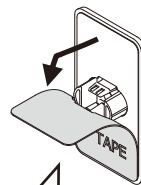


外したプッシュボタン (材質:PVC)は捨ててください。

親子・両開き



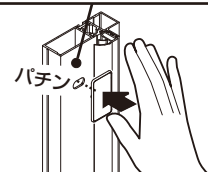
①-2 マグネットのリケイ紙を剥がします。



リケイ紙の剥がし忘れにご注意ください。

①-3 マグネットを張付けます。

マグネット張付け面が汚れている場合は掃除してください。汚れたまま張付けると外れるおそれがあります。



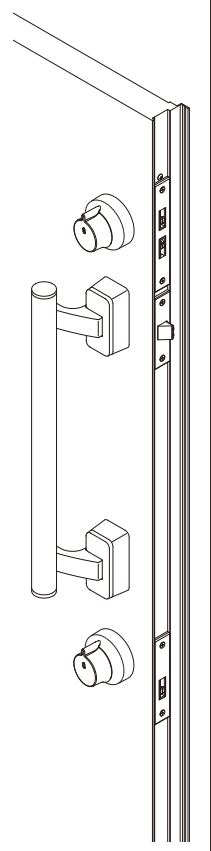
マグネットを3秒以上強く押付け、圧着させてください。

※一度張付けたマグネットは、取り外しても再利用できませんのでご注意ください。

② 電動サムターンの取付け

●サムターンは2個とも同じ部品で取付け方法も同じです。
 ※ねじの締付けトルク(推奨) : 1.2N・m (12kgf・cm)

完成図



②-1 コネクタを引出してからシリンダーと金具を皿小ねじで固定します。

シリンダー
箱錠

※箱錠は事前に取り付けてください。
 ※ハーネスのはさみ込みにご注意ください。

②-2 コネクタを接続します。

「カチッ」と鳴るまで挿してください。

カチッ
カチッ

②-3 サムターン本体を金具にはめ込みます。(解錠状態で取付けること)

右吊[R]の場合

この向きで取り付ける

左吊[L]の場合

この向きで取り付ける

サムターンの軸をラベルの向きに合わせてください。間違えるとサムターンが回りません。合わせた後はジョイントリングを動かさないでください。軸の向きが連動して変わります。

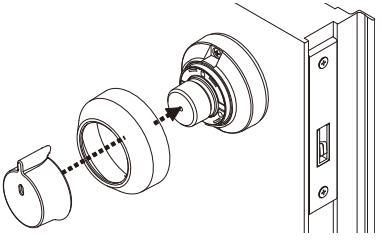
ラベル
軸
仮固定テープ
ジョイントリング

②-4 サムターン本体をねじで固定します。

仮固定テープ
ねじ

※仮固定テープはねじ固定後、カバーを付ける前に外してください。

②-5 カバーをはめてからツマミを付けます。



●取扱い上のお願い事項

本製品は精密機器です。構成部品に衝撃や強い力を加えないでください。破損の原因になります。破損防止のため、養生カバー(サムターンセットに同梱)を組立ててサムターンにかぶせ、施工中の養生用に活用ください。

ポロ
バキッ

糊残りの無い養生テープ(別途)で固定するとより確実です。

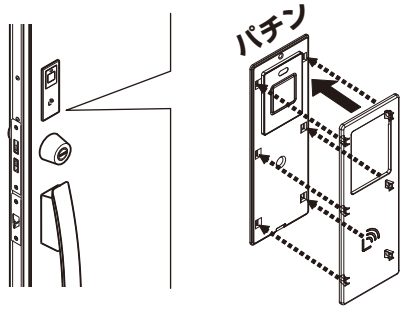
●ツマミの外し方

ボタンを押しながら引張ります。

ボタン

③ 室外側化粧プレートの取付け

③ リーダーに室外側化粧プレートを取付けます。(※S型ハンドルの場合、この作業は不要です。)



■メンテナンス時の対応

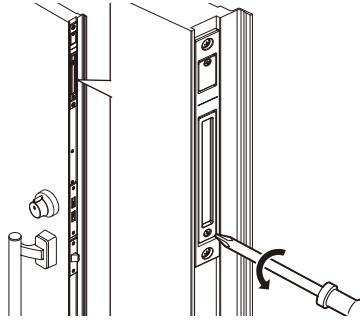
[化粧プレートの外し方]

図のように中央を押しながら横から外してください。別の外し方をするとプレートが破損するおそれがあります。

断面図

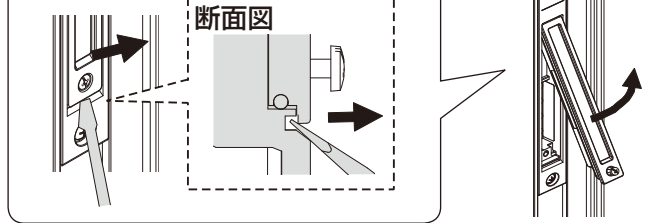
④電池を入れる

④-1 電池フタのねじを緩めます。



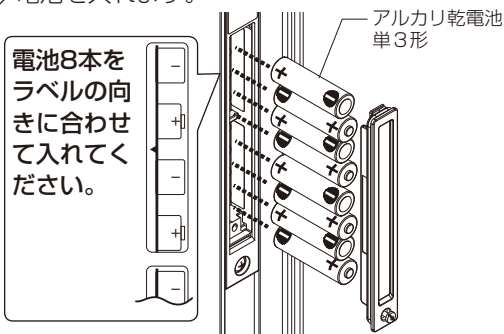
④-2 電池フタを外します。

フタが固い場合は、下図のようにマイナスイラストドライバー等で外してください。



④-3 電池を入れます。

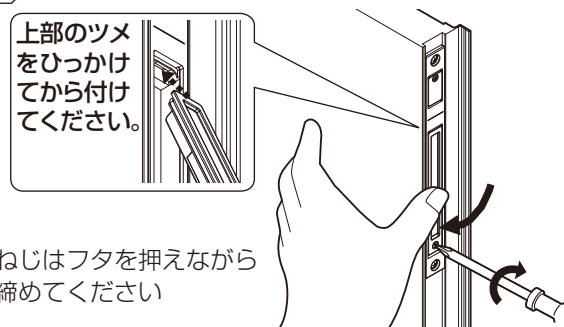
電池8本をラベルの向きに合わせて入れてください。



④-4 電池フタを閉めねじを締めます。

上部のツメをひっかけてから付けてください。

ねじはフタを押えながら締めてください



電池フタを閉めた後、ブザー音(ピ音)が鳴る場合は、以下の原因が考えられます。

ブザー音	お知らせ内容
ピーピー×4 ●●●●×4	上サムターンのコネクタ接続が来ていません
ピーピーピー×4 ●●●●×4	下サムターンのコネクタ接続が来ていません
ピーーーー *1 —————	・電池の入れ間違い ・電池フタが半開きになっている

*1)ブザー音「ピー音」と共に電池切れ表示が点灯します。(詳しくは7/8をご確認ください)

⑤電池を入れた後の動作確認

操作



吊込む前や扉を開けた状態で(マグネットが感知していない状態)上下のサムターンをそれぞれ順番に手で施錠させます。

状態

施錠した途端、「ピ音」が5回鳴り、LEDが橙色に点滅する場合



結果

正常にドアが開いている事とサムターンが手動で回された事を感じています。
※確認後、引渡しまでは電池を抜いて利用ください。

音が鳴らない場合



異常です。下記の点検手順①を参考に確認を行いメンテナンスしてください。

■点検手順①(上記手順で異常になった場合のみ点検を実施)

操作

リーダーのボタンを押す。(扉を開けた状態で実施してください)



状態

LEDが橙色に点滅し、ピ音が5回鳴る。

何にも起こらない。

結果

サムターンのコネクタが正しく接続できていません。

電池が正しく入れられていません。

扉を開けた状態で実施

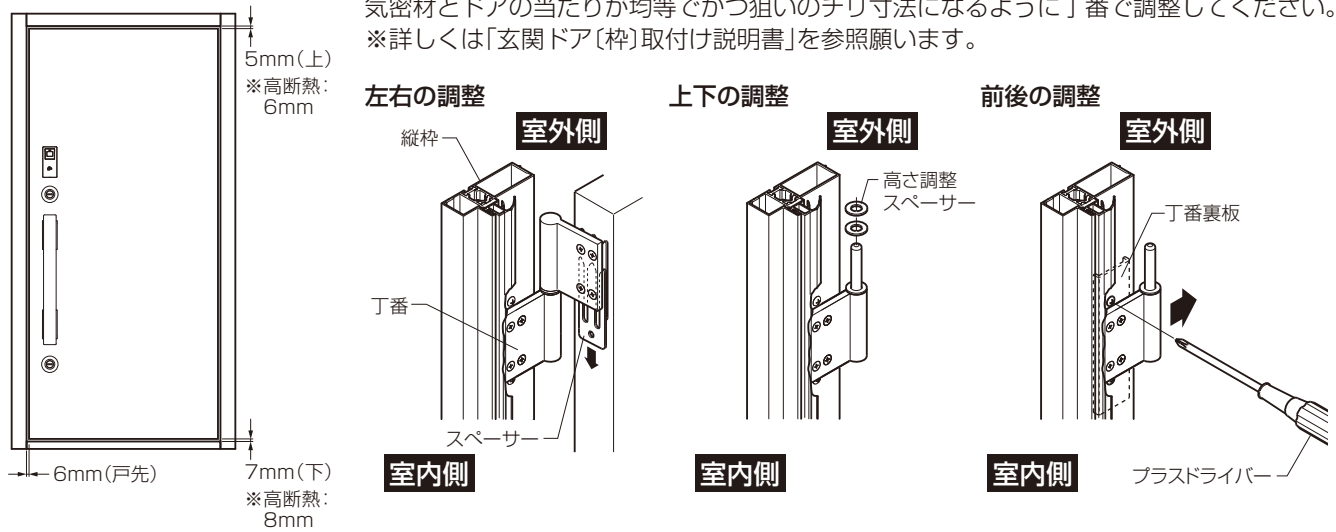
※本確認が終わりましたら工事期間中(工事用キー使用中)は、電池を抜いてご利用ください。自動施錠など、予期しない動作から、閉め出しにあうおそれがあります。

⑥ 枠とドア本体間のチリ寸法の調整

- 上下、戸先側のチリ寸法と気密材とドアの当たりが均等に当たるように確認、調整してください。

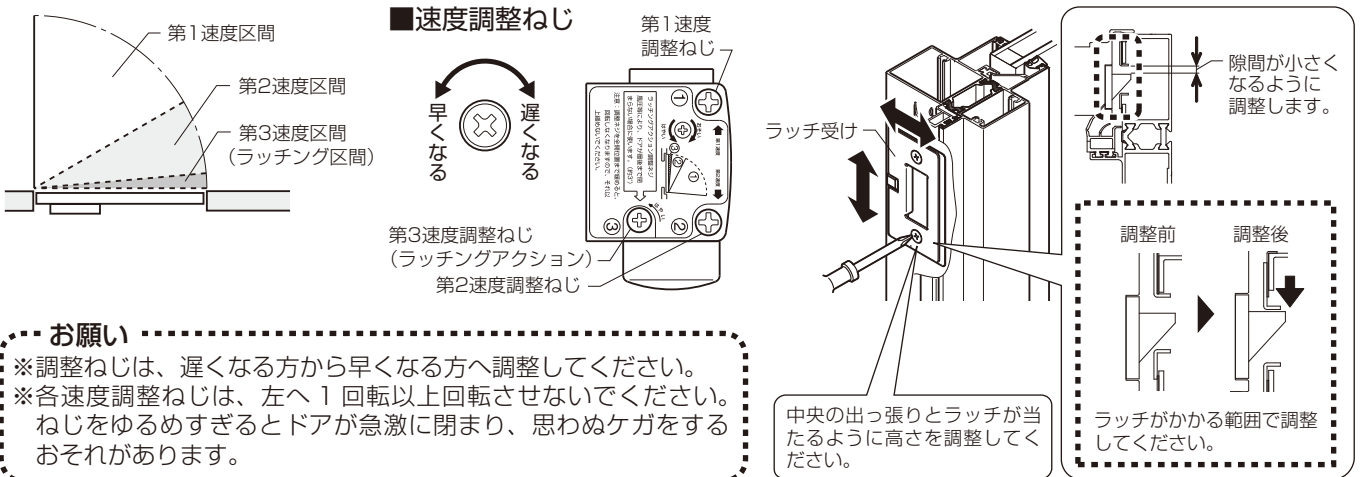
■チリ寸法

気密材とドアの当たりが均等であつ狙いのチリ寸法になるように丁番で調整してください。
※詳しくは「玄関ドア〔枠〕取付け説明書」を参照願います。



⑦ ラッチの調整

- ラッチ調整の前にクローザの速度を適切に調整してドアが最後まで閉まるようにしてください。うまく閉まらない場合は、丁番もしくは子扉のフランス落としの調整を行ってください。そしてラッチがかからない場合、もしくはラッチがかかってもガタつきが大きい場合は、ラッチ受けの位置を調整してください。



お願い

- ※調整ねじは、遅くなる方から早くなる方へ調整してください。
- ※各速度調整ねじは、左へ1回転以上回転させないでください。ねじをゆるめすぎるとドアが急激に閉まり、思わぬケガをするおそれがあります。

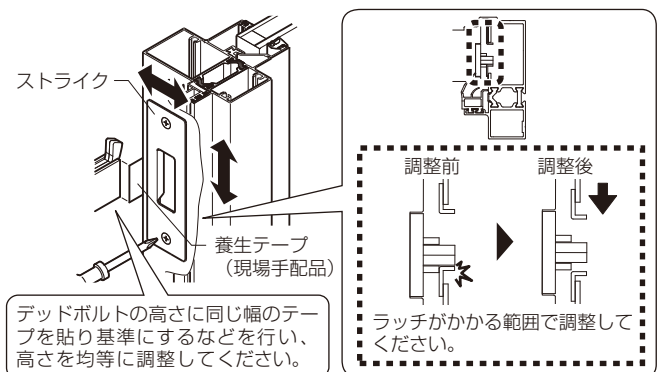
⑧ ストライクの調整

- ラッチがかかった状態でドアを押し引きしながらサムターンを回し、カギがスムーズにかかるかを確認してください。カギがスムーズにかからない場合は、ストライクの位置を調整してください。

【確認方法】

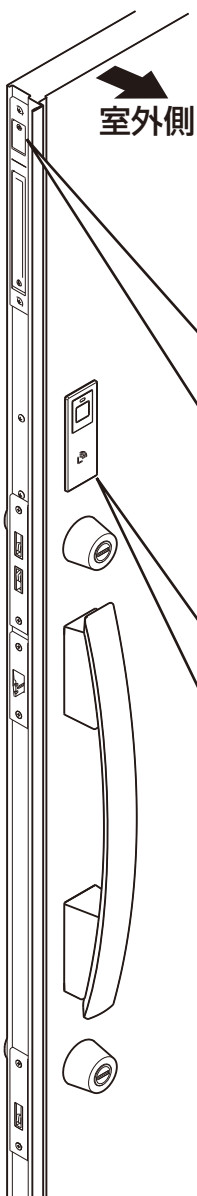
扉を押しながら
(把手は押さない)

把手を引きながら

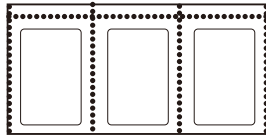


デッドボルトの高さに同じ幅のテープを貼り基準にするなどを行い、高さを均等に調整してください。

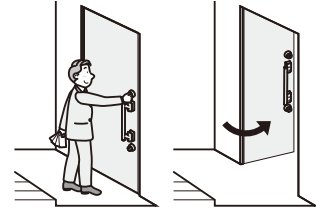
⑨カードキー・タグキーを使った動作確認



① 同梱のカードキーまたはタグキー3個は未登録です。(以下、「タグキー」は省略)
作動確認を行う際はクリアケースに入れたまま登録を実施してください。

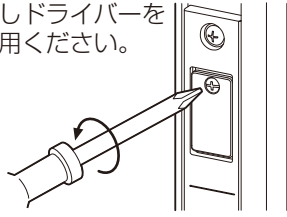


解錠し、ドアを開けます。
※登録終了まで開けたままにしてください。



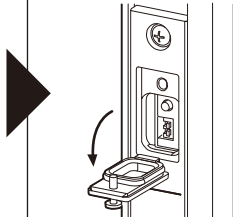
② フタのねじをゆるめます。

手回しドライバーをご利用ください。



約10回まわします。

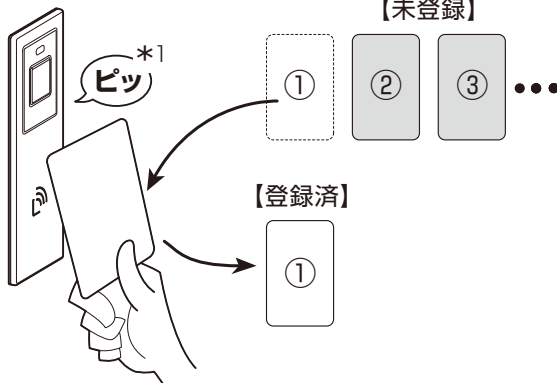
フタを外します。



登録ボタンを1秒押し、離します。



③ 1枚ずつカードキーをマークにかざし登録します。



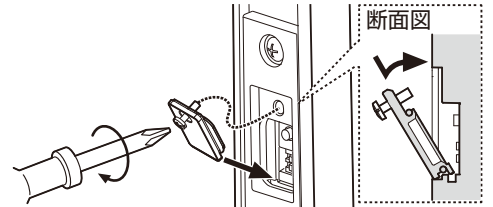
*1) 登録の都度、登録済み枚数分だけ『ピッ音』が鳴ります。(例：1枚目『ピッ』、2枚目『ピッ、ピッ』)
※最大登録枚数は10枚です。
※S型ハンドルの場合、マークはハンドルに付いています。

④ 約30秒待つと登録が終了し、『ピー』音の後、登録枚数分『ピッ』音が鳴ります。*2



*2) 登録済みのスマートフォンやリモコンの個数分も合わせて鳴ります。

⑤ フタを元に戻します。



下部のツメをひっかけてからねじをしめてください。

⑥ 外に出てカードキーを使って施錠の確認を行ってください。

タッチボタンを押し、カードキーを「マーク」にかざします。

2つのカギが施錠することを確認します。

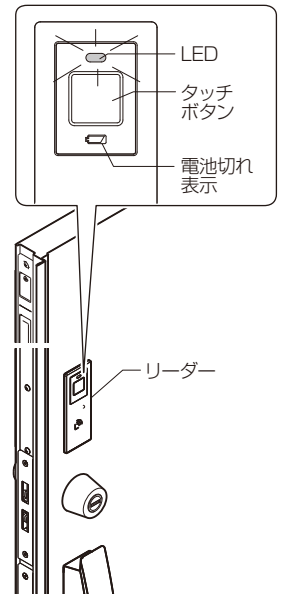


●お願い●
※電気錠操作では上下2ロックになりますが工事用キーで操作できるのは上シリンダーのみになります。この為、締め出しの可能性があるため別の出入り口を確保するか室内に人が居る状態で確認を行ってください。
※工事中は連動施錠機能をONにしないでください。下の錠が施錠されると工事用キーで解錠できなくなります。

※エラー音、エラー表示が点く場合は、[7/8]を参考に対処してください。

■ドアのブザー音と表示について

ブザー音	LED 表示内容	お知らせ内容
ピッ ●	緑色で点滅 (5 秒間) ☀ ● ☀ ● …	施錠中にタッチボタンが押され 認証モードに入りました。
	赤色で点滅 (5 秒間) ☀ ● ☀ ● …	解錠中にタッチボタンが押され 認証モードに入りました。
	点滅→消灯 ●	認証モードが終わりました。
	緑色で点灯 (1 秒間) ☀ →	施錠できました。
ピッピッ ● ●	赤色で点灯 (1 秒間) ☀ →	解錠できました。
ピー ■	緑→赤色で交互に点灯繰り返し ☀ ● ☀ ● ☀ ● …	登録ボタンが押され登録モード に入りました。
	点灯→消灯 ●	登録モードが終わりました。
—	緑色で点滅 (アップデート終了まで) ☀ ● ☀ ● …	ファームウェアアップデート状 態へ入りました。



ブザー音	LED 表示内容	お知らせ内容	対処内容
ピピピピピ ●●●●●	橙色で点滅 (1.5 秒間) ☀ ● ☀ ● ●	ドアが開いた状態で施解錠操作 が行われました。	ドアを閉じてください。
		施錠状態で登録ボタンが押され ました。	登録の際は解錠状態で行って ください。
		電動サムターン作動途中でドア が開けられました。	手でサムターンを回し解錠に してからドアを閉じてください。
ピーピーピーピーピー ■ ■ ■ ■ ■	電池切れ表示が点滅 (5 秒間) ☀ ■ ☀ ■ ● …	電池容量が少なくなりました。	新しい電池に交換してくだ さい。 電池を入れ直してください。 (4/8)④電池を入れる参照)
ピ—— ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■	電池切れ表示が点灯 (5 秒間) ☀ →	電池が切れました。	
	電池切れ表示が点灯 (60 秒間) ☀ →	電池を入れ間違っています。 電池フタが半開きです。	
ピピ × 8 ●● ●● ●● ●● …	橙色点滅 (2.5 秒間) ☀ ● ☀ ● ●	上の錠 (デッドボルト) がスト ライクに接触しています。	ドアが確実に閉まっていること を確認し再度電気錠操作で動 かしてください。それでも同 様のブザー音が鳴る場合は、 建付け調整を行ってください。 → (お施主さま用保存版 取扱説明書)
ピピピ × 6 ●●● ●●● ●●● …		下の錠 (デッドボルト) がスト ライクに接触しています。	
ピピ、ピピピ × 3 ●● ●●● ●● ●●● …		上下の錠 (デッドボルト) がスト ライクに接触しています。	
ピーピー × 4 ■ ■ ■ ■ …	橙色で点灯 (5 分間) ☀ →	制御ユニット、リーダーの故障。 もしくは扉内の配線に異常があり ます。	部品の交換が必要です。
ピーピー × 4 ■ ■ ■ ■ …		上電動サムターンの取付け不備 または故障しています。	電動サムターンをドアから完 全に取外し、再度取付けてく ださい。それでも復帰しない 場合は部品の交換が必要で す。→ (3/8)②電動サムター ンの取付け参照)
ピーピー × 4 ■ ■ ■ ■ …		下電動サムターンの取付け不備 または故障しています。	
ピーピー、ピーピー × 2 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■		上下電動サムターンの取付け不 備または故障しています。	
ピー × 4 ■ ■ ■ ■ …		リーダーに一時的なエラーが発 生しています。	電池を入れ直して再起動して ください。それでも復帰しな い場合は部品の交換が必要で す。
ピー × 8 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ …		制御ユニットに一時的なエラー が発生しています。	
—		橙色で点滅 (5 秒間) ☀ ● ☀ ● ● ● …	玄関キー (カードキーなど) が 登録されていません。(出荷時)
ピッ ●	緑色で点灯 (1 秒間) ☀ → (動作なし)	玄関キーが登録されていません。 (全末梢後 / 施錠時)	
	赤色で点灯 (1 秒間) ☀ → (動作なし)	玄関キーが登録されていません。 (全末梢後 / 解錠時)	

※S型ハンドルの場合、リーダーがハンドルに内蔵されており、一部形状が異なりますが、ブザー音やLED表示内容は変わりません。

■商品仕様

■ドア側(電池式)

入力電源仕様	DC6V アルカリ乾電池 単3形 8本(4本の直列接続を2並列で接続)
電池寿命	約 1年(常温20℃ 操作: 10回/日)
出力周波数	2402~2480MHz / 13.56MHz
電界強度	85dB μ V/m / 112dB μ V/m(参考値)
無線局の種類	誘導式読み書き通信設備 2.4GHz帯高度化小電力データ通信システム
使用環境温度範囲	-10~50℃(電池を除く)
使用環境湿度範囲	20~90%(相対湿度)
保存環境温度範囲	-20~60℃
スマートフォン登録可能数	計10台(最大同時接続数6台)
リモコン登録可能数	
カードキー登録可能数	

■カードキー

使用環境温度範囲	-10~50℃
保存環境温度範囲	-20~60℃

■タグキー

使用環境温度範囲	-20~60℃
保存環境温度範囲	-20~60℃

※本機器は総務省の技術基準に適合しており、総務大臣の許可なしに改造して使用することはできません。
改造すると法律により罰せられることがあります。